

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県美濃市 美濃病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------|---------|---------|---------------|------------|
| 当然財務 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 非設置 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPG対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 13 | 対象 | ド透訓 | 救 臨 輸 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 21,350 | 14,289 | 非該当 | 10：1 | |

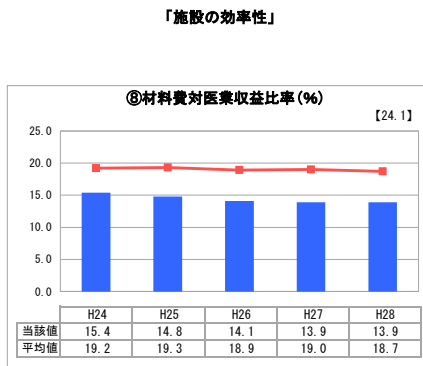
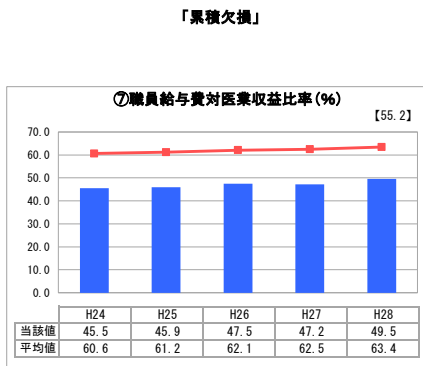
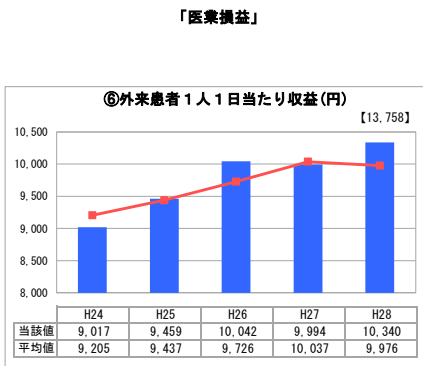
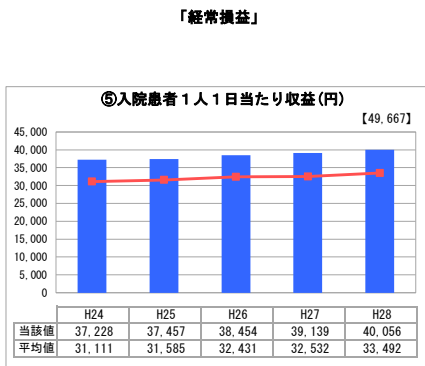
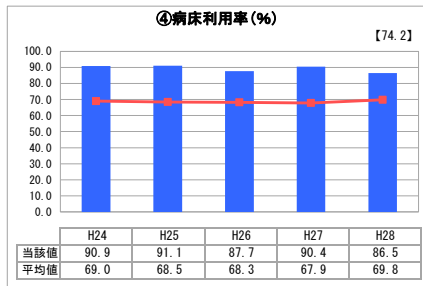
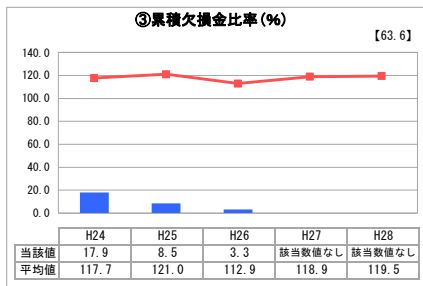
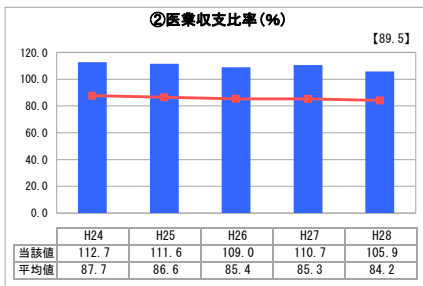
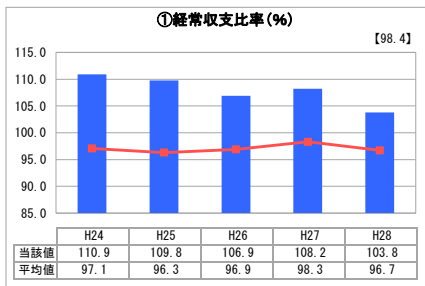
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 122 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 122 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 122 | - | 122 |

グラフ凡例
 ■ 当該病院値（当該値）
 - 類似病院平均値（平均値）
 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



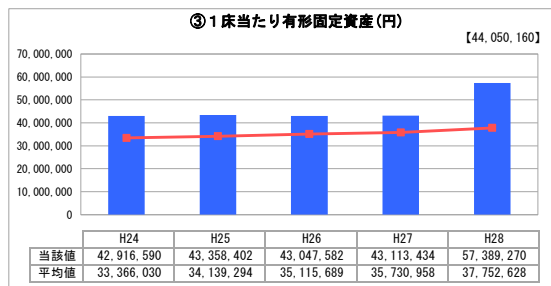
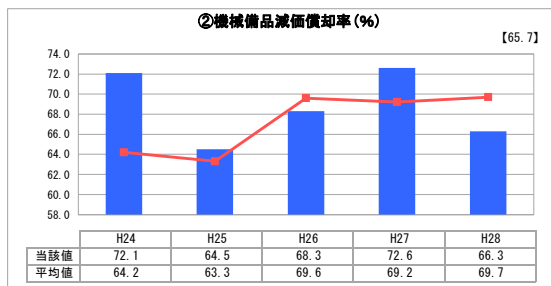
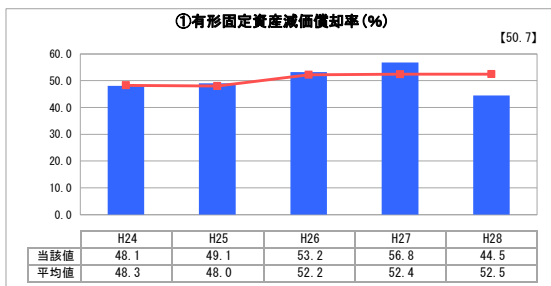
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、診療所との連携の中心的役割を果たし、地域の急性増悪に回復期医療を行っています。救急医療については、全受入れを方針とし、市内唯一の病院としてCT・MRI・内視鏡の共同利用の推進等、市内各診療機関との連携・支援に努めています。また、へき地医療貢献として、訪問診療や訪問看護ステーションの設置により、通院困難患者や在宅療養を支援しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：100%を上回っており単年度収支は黒字でしたが、H28年度は増改築等を行ったため経常費用が増加し収支比率は下がっています。
 ② 医業収支比率：100%を上回っており医業費用が医業収益によって賄われてはいますが、給与費等の増加により医業収支比率は年々減少傾向にあります。
 ③ 累積欠損金比率：累積欠損金については、平成27年度決算から解消されています。
 ④ 病床利用率：80%以上を保持していますが、入院患者数の減少により経年比較年度最低となっています。
 ⑤ 入院患者1人1日当たり収益：適正な病棟運営により経年比較では年々増加傾向にあり効率が保たれています。
 ⑥ 外来患者1人1日当たり収益：適正な診療体制のもと経年比較では増加傾向にあり、類似病院との比較についても上回っており効率的な経営がなされています。
 ⑦ 職員給与費対医業収益比率：経年比較では自然増により年々増加傾向にあるものの、類似病院の平均値を下回っており、効率は保たれています。
 ⑧ 材料費対医業収益比率：類似病院との比較でも下回っており、後発医薬品等への転換によって材料費が抑えられています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：経年比較では改築に係る除却資産により有形固定資産減価償却率は減少しています。
 ② 機械備品減価償却率：増改築に係る除却資産により機械備品減価償却率は前年度より減少しています。
 ③ 1床当たり有形固定資産：増改築及び外来棟の増改築に係る有形固定資産の増加により、経年比較では増加しています。また、類似病院と比較では平均を回っていることから、今後、施設及び医療機器等の老朽化が進んでいる中、更新の時期等を検討し、計画的な機器更新等を行っていくことが必要と考えられます。

全体総括

自治体病院として、地域から選ばれる満足度の高い医療サービスを提供することを目的に、健全で効率的な経営を目指しています。平成28年度は経営の健全性や効率性は保たれているといえますが、今後、医療機器の老朽化に係る機器の更新による経費増や当年度行いました増改築、外来棟の増改築に係る減価償却費の増加等による経費増が考えられ、収益に対する費用の圧迫が見込まれることから、経費の削減を図るなど、より一層の経営の効率化を図り健全化に努めていくことが必要と考えられます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。